



石部南学区 まちづくり協議会広報

平成25年3月15日発行

第23号

広報部会

発行：石部南学区まちづくり協議会 湖南市石部南3-5-1 石部南まちづくりセンター内 電話 0748-69-7068

『きらめき湖南』 安心なまちづくり 総括

石部南学区まちづくり協議会は、湖南市地域活性化推進事業「きらめき湖南」
テーマ名：安心なまちづくり「ハートフルベンチ」 ～備えあれば憂いなし～
を進めてまいりました。

内容は ①学区内避難所に「かまどベンチ」5基を設置し、緊急時に「かまど」として活用
②ソーラー発電による照明灯を2基設置し、緊急時はAC電源として活用
③学区内避難所を順次ウォークでめぐる「ふれあい防災ウォーク」の実施 です。
3月15日現在、①と②は設置完了し、後は③の実施を残すだけとなりました。



7月末に
ハートフルベンチ完成

☆ かまどベンチ設置場所 （設置写真⇒2ページ中段を参照）

- ① 石部南まちづくりセンター ② 石部幼稚園
③ 石部中学校 ④ じゅらくの里 ⑤ 一麦

2月12日 ソーラー発電装置の設置完了



明るいLED照明



2月18日 掲示板の設置完了



防災研修

2月27日(水)石部南学区より災害復興・まちづくり研修を行いました。(参加26名)平成2年の台風による愛知川の決壊で水害に見舞われた東近江市能登川町を訪問し、災害の教訓や対策のノウハウについて学びました。また、午後からは同愛東町の「平和記念館」(H12年3月17日開館)を訪問、戦争の悲惨さや平和の尊さについて再認識する機会となりました。能登川地区まちづくり協議会及び関係の皆さま、平和祈念館の皆さま、お忙しい中対応していただき、ありがとうございました。



ふれあい防災ウォークを実施します!!

小雨決行：雨天中止

【お楽しみ】各避難所では炊き出しにて美味しい食べ物(うどん・豚汁・甘酒・ぜんざい・コーヒー、お茶)を準備しています。

3月17日(日)

集合 8:30 開会式 9:00
スタート 9:15 終了 13:30頃

【集合場所】各指定避難場所 《かまどベンチ前》

- ①石部南：石部南まちづくりセンター ②宮の森：石部幼稚園
③宝来坂：石部中学校 ④西寺・丸山：じゅらくの里
⑤東寺：一麦 ★石部南小学校：スタンプラリーポイント

【コース順路⇒それぞれ、5か所同時にスタートします。】



1 石部南まちづくりセンター



2 石部幼稚園



3 石部中学校



4 じゅらくの里



5 一麦

「もみじ・あざみ」寮の紹介

「あざみ」の創設は、知的障害のある年長女子の職業指導施設として大津市に誕生。

(昭和28年7月)県立近江学園(昭和21年創立)での実践から生じてくる課題を受けとめ、また児童期から成人へ移行する人たちの社会的・制度的あい路を開くために、法制度が整う以前に、糸賀一雄の私塾として始まりました。「もみじ」は、知的障害者の入所授産施設として昭和44年に現在の湖南市に開設し、同時にこれまで自由契約施設であった「あざみ」も同地に入所更生施設として再出発しました。長期に施設での暮らしを必要とする人たちに対して、真に暮らしの場であること、生きがいとしての働く場であること、そして文化を求め憩う場であることを基本として、人格発達の見地から、社会性の習熟、発達の保障を重要ととらえて取り組んでいます。日中活動は、農耕、園芸、クリーニング(外部受託)、やきもの、織もの、炊事などの作業に取り組み、生活の糧として「ひとの役に立ちたい」と頑張っています。



宝来坂区

11月24日(土) 阿星山



トレッキングを実施。
14名の参加があり
足取りも軽く、山頂を
目指しました。ちょっ
とハードな中、登頂された9名の方は、阿
星山制覇に満足で、最後まで元気でした。

宝来坂区

12月26日、27日 正月用の
門松を、もみじ・あざみの
皆さんと一緒に作り、
設置しました。指導は宝
寿会の皆さんです。あり
がとうございました。



石部南区

12月29日(土)石部南ま
ちづくりセンターで、餅つき大会&生け
花と門松づくりを実施しました。20kg
のもち米を全てつき終わり、皆さん大満
足でした。



東寺区

1月13日(日) 長寿寺で「鬼
走り」が行われました。鬼子に扮した男の
子が寺の内陣を、赤鬼
は右手に太刀・左手に
松明を持ち、青鬼は両
手で槍を抱えながら
走り、悪霊追放と家内安全を願いました。



宝来坂区

12月16日(日) 集会所



前で、餅つき大会を
実施。大勢の方の参
加があり、年配の方
は慣れたもの、若手
も頑張りました。婦人の方のころの
こもった“ぜんざい”をいただきました。

宝来坂区

1月26日(土) かなかなサ
ロンで楽しい「たこ焼き
パーティー」を開きまし
た。68名が参加、美味
しいたこ焼きを頂きなが
ら全員で“ビンゴゲーム
”を楽しみました。



宮の森区

12月8日(土) 集会所で
シニア倶楽部の皆さん
が餅つきをしました。
“昔とった杵柄”で作
業はスムーズに進み、
皆さんで「きな粉餅・
ぜんざい」にいただきました。



西寺・丸山区

1月4日(金) 青年会、
六人衆、村中役員により勸請縄を綯い、
村の中に厄災が入って来ないように吊る
しました。そして、13日に皆で祈祷し
ました。



東寺区

2月10日(日) 自然乾燥
させた原木300本
に、琵琶湖森林づくり
パートナー協定を結ぶ
企業の皆さんと森林組
合組合員とで椎茸を植
菌しました。



各自治会活動コーナー



歴史の小径【第12回】

阿須波道(あすはみち)

竹内 利夫 氏著

東海道 古代東海道が甲賀を通過するのは延暦13年(794) 約1200年前頃であり、この甲賀を通過するルートに改まり、重要性が増してきた。

その頃は、甲賀から伊賀を通り伊勢参宮道としての利用が主であった。(三重県の倉歴峠を通過したことから倉歴道といった)

石部を通過する古代の東海道は西暦(667) 約1300年前で、天智天皇の大津京が完成した後であり、伊勢参宮の斎王群行と伊勢勅使の通路として整備されたものと思われるが、その後は三雲村、水口村を経由して、鈴鹿峠を越えて関村に至り今の東海道の原形が出来た。(仁和2年約1100年前までは倉歴道)といったが、今の鈴鹿峠を越えるルートが整備されて参宮道と東海道を兼ねる事となる。その頃は「阿須波道」と名付けられていた。斎王群行はけがれを嫌うことから、伊勢落村の野洲川で禊が行われていたと伝えられている。その斎王跡地は、現在高速道路の下あたりの田の中にある。伊勢落村は、元は伊勢大路村と称したといわれている。従って、古くはこの田あたりも野洲川であったと思われる。古代の道は最短距離を通るため直線の道であり、石部を通った古代の道は今の村崎線あたりであったといわれている。

古道といわれている東海道は、天和2年(1682)8月(320年前)に野洲川の洪水が発生し、出岩地先で道路が崩壊し通行不可能となりその氾濫で山手よりに迂回する道が築かれた。その後、往来する旅人の安全を願って幕府の指導により、その新道に5軒の茶屋が設置された。今もこの地を五軒茶屋と呼んでいる。しかしこの新道は今まで街道よりも約2倍の道のりになり遠回りとなることから、古い道路が明治期に入り整備されて現在の東海道が復元されることとなった。当時は5軒茶屋側を上道、今の道を下道と言っていたが、今日では下道を古道と呼んでいる。

また、東山道はもと石部地先(伊勢落)より野洲川を渡河して菩提寺に至り、菩提寺山を経て篠原方面に通じていたともいわれている。今の伊勢落は参宮道と東山道との落合であったのかもしれない。

2003 夏



石部南学区まちづくり協議会のホームページアドレス

<http://www.ishibe-minami.net/>

メールアドレスは info@ishibe-minami.net